

本ビジョンは、地球規模でのCO<sub>2</sub>排出削減による2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当会が貢献しうる可能性の追求を共通理念とし、2030年度よりもさらに将来を見据えた電気事業のあり方と具体的施策についてまとめたもの

### 2050年カーボンニュートラルの実現に向けた電気事業のあり方

- ◆ 安全の確保を大前提とした上で、エネルギー安定供給を第一とし、経済性、環境保全【S+3E】の達成を果たすエネルギーミックスの追求
- ◆ 徹底した省エネルギーと最適なエネルギー構成を前提とした「電気の低・脱炭素化」と「電化の促進」
- ◆ 大幅なCO<sub>2</sub>排出削減を達成するための「イノベーション」を通じた革新的技術が不可欠
- ◆ 低炭素型インフラ技術の輸出ならびに海外事業の展開による「海外貢献」を通じた地球規模でのCO<sub>2</sub>排出削減

### 具 体 的 施 策

#### 電気の低・脱炭素化（電力供給サイド）

原子力  
安全確保を前提とした活用（再稼動、核燃料サイクルの推進）  
再生可能エネルギー  
導入拡大・維持、系統安定化・調整力確保  
火力 高効率化  
IoT（ビッグデータ）・AI技術の活用

#### 革新的技術/イノベーション

原子力  
小型ジュール炉、溶融塩炉、高温ガス炉、核融合炉  
再生可能エネルギー  
次世代太陽光、超臨界地熱、蓄電池、水素製造  
火力 水素・アンモニア発電、CCS・CCU/  
カーボンリサイクル  
ワイヤレス送電・給電

#### 電化の促進（電力需要サイド）

ヒートポンプ・IHの普及促進  
EV・PHVの充電インフラの開発・普及  
IoT（ビッグデータ）・AI技術の活用

#### 革新的技術/イノベーション

運輸部門・産業部門・民生部門における  
高効率な電化のための技術  
ワイヤレス送電・給電

海外貢献：低炭素型インフラ技術の輸出・海外事業の展開

地球規模でのCO<sub>2</sub>排出削減

### 2050年カーボンニュートラルの実現に必要な要件

- ◆ 「S+3E」を前提とした「電気の低・脱炭素化」と最大限の「電化の促進」に資する政策的・財政的措置
- ◆ 社会実装可能なイノベーション技術と経済合理性の両立
- ◆ 必要なコストを社会全体で負担することへの理解の醸成、行動変容の促進